

旧妙音庵薬師堂(附:薬師三尊・十二神将)



よみ	きゅうみょうおんあん やくしどう
指定	市指定有形文化財
種別	建造物
数量	1棟
所在地	御前崎市下朝比奈
所有者	旧妙音庵薬師堂保存会
指定日	昭和62年10月28日



附:薬師三尊



附:十二神将

詳細情報

構造

木造平屋建、宝形造棧瓦葺(ほうぎょうづくりさんかわらぶき)、1間堂

正面 木連格子(きつれこうし)

背面 張出し(仏壇)

側面 (右) 引違い板戸

(左) 片引板戸

解説

軒は二軒で、正面だけを放射状の扇垂木(おうぎたるき)にして、三方を平行垂木にしています。柱間には木鼻(きばな)をつけた虹梁(こうりょう)をかけ、中備(なかぞなえ)は板臺股(いたかえるまた)、柱上には鬼斗付出三斗(おにとつきでみつど)で桁を受けています。

虹梁や斗栱(組物)、絵様(えよう)や彫刻などの工法から江戸末期の様式がうかがえます。

薬師堂は、延宝9年(1681)に閑田院(下朝比奈)の末寺として宮ヶ谷寺藪に創建されたといわれています。明治35年(1902)に現在地に移転され、堂の屋根裏には再建の棟札がありますが、屋根だけを改築したものと推測されます。

